

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
（都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書）

都道府県名 山形県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標									スマート農業推進種 導入・定着の取組の実施内容	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考		
					現状			目標			実績										
					年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位								
寒河江市農業再生協議会	3	寒河江市高松地区、白岩地区	水稲	①高性能機械の導入により作業効率を高め、労働費を削減する。 ②作業効率の向上に伴い、規模拡大を図る。 ③生直に必要な肥料・農薬といった資材の購入方法を直直し、物財費を削減する。 ④圃場管理システム等の導入を研究し作業効率の向上を図る。 ⑤密苗栽培に取組み、育苗資材に係るコスト低減と省力化を図る。	生産コストの10%以上の削減 【10.2%削減】	H28	102,846円/10a	37.5 ha	217 t	H32	92,339円/10a	48 ha	278 t	R2	107,266円/10a	49.3 ha	230 t	-42.1%	突発的な農機具故障による修繕費の増加や天候不順による病害虫防除費の増加等で、予定以上に経費がかかり、達成率が低くなった。 経費全般を見直し、安価な農薬、肥料を使用する等経費削減を進めるように指導した。	R3評価	
山市農業再生協議会	3	山市山元地区	そば	①汎用コンバインをリース方式で追加導入し、刈取作業効率を高め、労働費や燃料費を削減する。 また、既存コンバインの負荷を減らすことで修繕費の削減を図るほか、生産資材等も削減し、生産コストを削減する。	生産コストの10%以上の削減 【10.1%削減】	H29	15,384円/10a	13.1 ha	2.79 kg	H32	13,830円/10a	14.4 ha	3,220 kg	R2	11,908円/10a	13.6 ha	3,750 kg	223.7%	汎用コンバイン導入による作業効率化の効果や経費削減努力により、生産コストの削減が実現できた。	R3評価	
天童市農業再生協議会	4	天童市田原野、蔵増、干布地区	水稲	①高性能機械を導入することにより、作業効率向上を図り、自身で刈取り等の作業を実施していくことで単位面積当たりの労働費および委託費を削減する。 ②生直に必要な肥料や農薬といった資材の購入方法や作業方法等を見直し、また自身で育苗等を実施することで物財費を削減する。 ③実需者から産地指定を受けて、生産拡大を要望されていることから、中間管理機構等を活用しながら積極的に規模拡大にとり組み面積を拡大していく。	生産コストの10%以上の削減 【17.4%削減】	H29	194,741円/10a	5.57 ha	12.89 t	H32	160,806円/10a	10.57 ha	57.3 t	R2	136,551円/10a	13.65 ha	74 t	171.5%	作業効率向上による労働費削減や面積の増大などにより単位面積当たりのコストを削減でき、目標を達成することが出来た。	R3評価	
大石田町農業再生協議会	4	大石田町鷹巣	水稲	①リース方式で高性能機械を導入し、規模拡大を図るとともに作業効率向上と単位面積当たりの労働時間を削減する。 ②圃場管理システムを活用し、一律な管理から1筆単位の細やかな管理を行って肥料、農薬等の費用を削減し、生産コストを削減する。 ③肥料や農薬を安価なものに切り替え、物財費を削減する。 ④農地中間管理機構を活用した農地集積と集約を図る。	生産コストの10%以上の削減 【10.1%削減】	H28	111,990円/10a	37 ha	-	H32	100,701円/10a	43 ha	-	R2	100,699円/10a	46.7 ha	-	100.0%	担い手への集積が計画以上に進み、集積によるコスト削減が図られている。その中で、組合員の療養期間中にも他の組合員が作付けを受け持ち経営規模を確保した。突然の経営変遷にも対応できた。今後の経営方針について、聞き取りを実施し、次年度以降の経営確認を行った。	R3評価	
舟形町農業再生協議会	4	舟形町舟形、沖の原、長者原、福寿野、太折地区	水稲	①直播作業機を導入し、生産規模を拡大するとともに、生産コストの削減を図る。 ②乾燥・調製設備の機能強化を図り、作業効率を向上させて生産規模の拡大と生産コストの削減を両立する。 ③農地を集約し、作業効率向上を図る。	生産コストの10%以上の削減 【10.1%削減】	H28	97,362円/10a	91.7 ha	454 t	H32	87,549円/10a	100.9 ha	500 t	R2	71,442円/10a	133.4 ha	608,032 kg	264.1%	高性能機械の導入によって、作業効率の向上と経営規模の拡大が実現でき、生産コストの削減目標を達成することができている。今後も引き続きコスト削減と産地の拡大に取り組んで頂きたい。	R3評価	

舟形町農業再生協議会	6	富長地区	水稻	①経営規模の拡大に伴い高性能農業機械を導入し、作業効率を高め、労働費を削減する。 ②生産に必要な肥料や農薬といった資材の購入方法や作業方法等を見直し、物財費を削減する。 ③疎植栽培の導入による種苗費の削減及び育苗に係る労働時間の削減 ④農地中間管理事業を活用して経営規模を拡大する。 ⑤高速かつ正確に疎植可能な田植機の導入により、種苗費の削減及び育苗に係る労働時間をさらに削減する。	生産コストの10%以上の削減【10.3%削減】	H28	96,887円/10a	70.4	ha	308,610	kg	H32	86,867円/10a	77.8	ha	397,740	kg	R2	67,643円/10a	105.9	ha	474,195	kg			所得税青色申告決算書、営農計画書、作業日誌等により生産コストの削減を検証する。	291.9%	作業効率向上による労働費削減や面積の増大などにより単位面積当たりのコストを大幅に削減できている。異常気象や病害虫の対策等に削減できている。引き継ぎ、コスト削減状態を維持できるように支援していく。	R3評価			
舟形町農業再生協議会	10	富田1、富田2	水稻	①経営規模の拡大に伴い高性能農業機械を導入し、作業効率を高め、労働費を削減する。 ②生産に必要な肥料や農薬といった資材の購入方法や作業方法等を見直し、物財費を削減する。 ③疎植栽培と粒状側施肥の導入による種苗費、育苗及び定植、基肥施肥に係る労働時間の削減に取り組む。 ④農地中間管理事業を活用して経営規模を拡大する。	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H29	106,831円/10a	35.4	ha	144,950	kg	H32	96,023円/10a	43.5	ha	237,946	kg	R2	88,461円/10a	45.5	ha	212,470	kg			所得税青色申告決算書、営農計画書、作業日誌等により生産コストの削減を検証する。	170.0%	作業効率向上による労働費削減や面積の拡大などにより単位面積当たりのコストを削減できている。後は異常気象や病害虫の対策等予期せぬことにも適切に対応できるように準備し、引き続きコスト削減に取り組んでいくよう指導していく。	R3評価			
真室川町農業再生協議会	8	真室川、大沢、差首嶺、及位、大滝	大豆	①規模拡大に対応するため高性能コンバインを導入し、作業効率を高めて単位面積当たりの労働時間を削減する。 ②肥料、農薬等の物財費を削減して生産コストを削減する。 ③大豆の生産圃場の団地化を図り作業効率を高める。	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	47,301円/10a	79	ha	-		H32	42,538円/10a	89	ha	-		R2	41,543円/10a	87	ha	-			税務申告や収支決算書、作業日誌等により生産コストの低減を検証する。	120.9%	農業機械の導入は規模拡大と生産コストの軽減に繋がっており、目標達成に至っている。	高性能なコンバインのリース導入により、作業能率が向上して労働時間の削減と規模拡大が実現でき、目標に掲げた生産コスト削減を達成できた。	R3評価			
真室川町農業再生協議会	9	及位	飼料用米	①高性能コンバインを導入し、作業効率を高めて単位面積当たりの労働時間を削減する。 ②飼料用米の生産圃場の団地化を図り作業効率を高める。 ③肥料、農薬等の物財費を削減して生産コストを削減する。 ④S G Sの生産・販売により収益性を確保する。	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	118,153円/10a	19	ha	-		H32	106,216円/10a	23	ha	-		R2	102,765円/10a	28	ha	-			税務申告における収支決算書等により販売額の増加を検証する。	128.9%	高性能コンバインを導入した結果、作業能率が向上して単位面積当たりの労働時間が削減され、さらに規模拡大が可能となり目標を達成できた。	高性能なコンバインのリース導入により、作業能率が向上して労働時間の削減と規模拡大が実現でき、目標に掲げた生産コスト削減を達成できた。	R3評価			
川西町農業再生協議会	7	中郡	水稻	①乾燥・調整・選別の一貫体制の構築に伴う使用量の削減 ②フレコン出荷による作業時間の短縮 ③中間管理機構を活用した農地集積による作業効率向上	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	122,560円/10a	16.4	ha	100,245	kg	H32	110,181円/10a	28	ha	172,480	kg	R2	118,279円/10a	22	ha	135,520	kg			決算書・確定申告書等により確認する。	34.6%	川西町は農業者の高齢化が顕著であり、担い手への農地集積が課題となっている。本事業を活用したことで取組主体への農地集積が図られて作業効率が向上している。昨年度については、今後も農地集積が進むことが想定されることから、正社員雇用を行ったことにより目標を達成することができなかったが、経営努力等により、多くの項目で生産コスト削減が図られている。今後も肥料等のコスト削減を継続するよう引き続き指導を行う。	今後の農地集積を想定して労働力確保の観点から正社員を雇用したり、除草剤の追加散布や土づくりのための経費など突発的な費用が発生したことにより、全体的なコストとしては現状を上回っているが、しかしながらコストを削減できている部分もある。当年度の水稲生産においては、削減できる経費についてはより多くのコスト削減を行い、また規模拡大を図っていくよう指導していく。	R3評価		
飯笠町農業振興協議会	3	小白川救生橋	水稻	①高性能農業機械の導入に伴う作業の効率化による労働時間の削減 ②疎植栽培の拡大に伴う春作業（育苗）の労力軽減による労働時間の削減 ③肥料、農薬等の見直しによる物財費の削減 ④受託面積の拡大による規模拡大	生産コストの10%以上の削減【11.1%削減】	H28	141,228円/10a	37.5	ha	-		H32	125,574円/10a	57	ha	-		R2	184,157円/10a	42.5	ha	262,650	kg			実施主体の作業日誌、申告書類等により検証する。	-274.2%	主に生産性の向上や作業の効率化を目的とした農業用機械等の導入により、減価償却費が増大してしまっただからR1年度と比較するとコストが増大する結果となった。今後については効率的な作業体系の確立と規模拡大を積極的に進め、コスト削減できる部分を中心にこれからもコスト削減の強化を行っていくこと目指すよう指導していく。	規模拡大が計画通りに進まず、成果目標である「生産コストの削減」の目標達成には至らなかった。受託面積を積極的に増やして規模拡大によるコスト低減を進めるとともに、現在の経営状況を見直し、コストが削減できる部分を中心にこれからもコスト削減の強化を行っていくよう指導していく。	R3評価		
鶴岡町農業振興協議会	3	鶴岡羽島藤島朝日温海	水稻	・規模拡大に伴い高性能機械をリース導入して作業効率を高めて10a当たり労働時間を削減する ・肥料や農薬を安価なものに切り替え、物財費を削減する ・中間管理機構を活用した農地集積と規模拡大を行う ・直播栽培や疎植栽培（37～60株/坪）、密苗等の省力技術を導入・拡大し、コスト削減方法を確立するとともに生産性向上を図る	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	120,481円/10a	438.9	9	ha	2,620.77	kg	H32	108,339円/10a	651.9	8	ha	3,846.68	2	kg	R2	106,225円/10a	683.2	ha	4,249.42	3	kg	税務申告における収支内訳書及び作業日誌等の関係資料による。	117.4%	経営規模の拡大や高性能機械の導入による作業効率の向上により、単位面積当たりのコストを削減することができ、その結果、目標に掲げた生産コスト削減を達成できた。	高性能機械のリース導入による労働時間の削減と経営規模の拡大によって、単位面積当たりのコストを削減することができ、その結果、目標に掲げた生産コスト削減を達成できた。	R3評価

三川町農業再生協議会	3	東郷地区、横山地区、押切地区	水稲	①経営規模の拡大に伴い高性能農業機械を導入し、作業効率を高め、労働費を削減する。 ②生産に必要な肥料や農薬といった資材の購入方法を見直し、物財費を削減する。 ③農地中間管理機構を活用して経営規模を拡大する。 ④疎植栽培を導入し、種苗費及び育苗に係る労働時間の削減を行い、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	121,644円/10a	87 ha	537 t	H32	109,357円/10a	112 ha	691 t	R2	110,129円/10a	120 ha	726 t	営農計画書・出荷伝票や収支決算書、作業日誌及び税務申告書等の資料により生産コストの確認・検証を行う。	93.7%	機械導入によるコスト削減や面積の拡大は認められるが、悪天候や燃料費高騰により削減効果は低調となった。関係機関と調整し、気候変動や燃料費高騰を受けたコスト削減方法の再検討し、目標達成を図る。	悪天候や燃料費高騰により、目標値には達しなかったが、高性能農業機械のリース導入により、労働時間の削減が図られ、生産コスト削減の目標を概ね達成できた。	R3評価
庄内町農業再生協議会	6	古館、玉坂、東大乗向	水稲	①規模拡大に伴い高性能機械を導入し、作業の効率向上を図って単位面積当たり労働時間及び物財費を削減する。 ②農地集積（中間管理機構の活用）により、作業効率を向上して単位面積当たり労働時間及び物財費を削減する。 ③直播栽培や疎植栽培（37株/坪）等の省力技術を拡大することで、コスト削減方法を確立するとともに生産性向上を図る。	生産コストの10%以上の削減【10.1%削減】	H28	114,976円/10a	71.11 ha	425,614 kg	H32	103,374円/10a	89.93 ha	541,379 kg	R2	103,627円/10a	35.1 ha	186,690 kg	営農計画書・出荷伝票や収支決算書、作業日誌及び税務申告書等の資料により生産コストの確認・検証を行う。	97.8%	構成員1名はH30年に死去したため本計画から離脱した。残りの構成員2名が、高性能機械のリース導入で労働時間を削減するとともに、経費の見直しにより不要な出費を抑えたことにより、目標を概ね達成できた。	本計画の構成員1名がH30年に死去したためから離脱した。リース導入により労働時間を削減し、さらに経費の見直しにより不要な出費を抑えた結果、目標に掲げた生産コスト削減を概ね達成できた。	R3評価
遊佐町農業振興協議会	1	稲川	水稲	①農地の受託を中心とした規模拡大を行いながら農地の集約も図り作業効率を高める。 ②規模拡大に伴い乾燥調製に係る委託料負担が大きくなることから、乾燥機・選別機を新規導入し、自前での実施に切り替えて効率的作業体系を確立し、コスト削減を図る。 ③栽植密度の見直しによる育苗箱数の低減、育苗に係る労働の効率化と削減、栽植密度を疎植にしつつも苗の分けつにより穂数を確保するような収量、品質を確保する栽培技術の習得等により生産コスト削減と収量品質の安定を図る。 ④無人ヘリコプターによる萎防除をドローン導入により自前の防除を行う。 ⑤大型コンバインを導入し、作業効率を高めて労働費を削減する。また、導入するコンバインは、収量コンバインであることから、圃場ごとの食味や収量データを取得し、品質、収量、食味の向上対策に活用するとともに、圃場ごとの施肥管理に活用して過剰施肥を削減し、物財費を削減する。	生産コストの10%以上の削減【10.2%削減】	H29	110,374円/10a	34.1 ha	192 t	H32	99,118円/10a	37 ha	218 t	R2	89,735円/10a	44.8 ha	254 t	税務申告における収支計算書及び作業日誌等の関係資料による。	183.4%	高性能機械の導入によって作業効率が向上されて規模拡大が可能となり、生産コストの削減の目標を達成できた。	高性能機械のリース導入によって労働時間の削減と規模拡大が可能となり、生産コストの削減の目標を達成できた。	R3評価

尾花沢市 農業再生 協議会	1	秋袋	野菜(すいか)	出荷方法の見直しと省力化機械の導入により、高品質で安定的な生産・出荷。若い世代の産地の継承、労働力の確保・調整、ブランド化等を推進することで産地拡大を実現し、販売額の増加を図る。	販売額の10%以上の増加 【4.9%増加】	H29	5,473万円	5.2	ha	すいか 288	t	すいか 190	円/kg	R2	8,478万円	8.5	ha	すいか 446	t	すいか 190	円/kg	R2	8,235万円	10.8	ha	すいか 433	t	すいか 190	円/kg	91.9%	令和2年度は記録的な真夏(月降水量50.4mm 観測史上最大)が続く水害とその後の寒害発生により市全体でも収穫量減となったものの、取組主体は水害対策と防除の徹底に努め概ね目標販売量を達成することができている。 課題に対する検証と改善ができており、産地の継承も課題で目標以上に作付面積の拡大で目標以上の経営効率が確保しやすくなっている一方で、高品質加工に資する労働力の確保に苦慮しており、継続した課題となっている。 また、販路拡大促進品種の導入も検討しており、ニーズに合わせた産地の増加を図る計画となっている。 引き続き安定した生産活動を継続することで目標達成に向けて取り組むよう指導した。	契約販売による単価が市場に影響されないため確保しない	確定申告書及び販売伝票等の履歴資料による	令和2年7月産期の影響により、生産量が大幅に減少したが、防除の徹底による病害の発生を最小限に抑えたことで、概ね目標を達成している。 また、事業により導入した機械を有効活用し、産地拡大を積極的に進めている。今後3年の目標達成は確実に見込まれている。 一方で、産地拡大に伴い、労働力確保の課題が顕在化しているため、産地に向けた取り組みを検討するよう指導した。	R3評価 契約販売により、単価が市場に影響されないため価格補正を行わない	
新庄市農業再生協議会	3	新庄市	露地野菜(にんじん)	①実需者からの需要があり、また、雪室保存により高付加価値を実現しやすい園芸作物(ニンジン)への作付転換を図り、産出量の向上を図る。 ②作物の生産に必要な作業機械を導入し、効率的な作業体系を構築する。 ③ニンジンの高品質・安定生産のため栽培技術の高効率化を目指し、販売額10%以上の増加を実現する。	販売額の10%以上の増加 【100.1%増加】	H29	11千円/10a	10.0	ha	人参 3.8	t	人参 278	円/kg	R2	210千円/10a	10	ha	人参 350	t	人参 60	円/kg	R2	34千円/10a	4.5	ha	人参 16.6	t	人参 100	円/kg	11.6%	取組当初の生産者が減少した上、生産技術が徐々に向上し、収量を増やし、10a当たりの販売額という目標を超えることが出来たこと、生産者数も増加すると思われる。園地生産を目指した生産者の拡大も視野に入れているため、蓄積した技術を活かした今後の生産拡大を期待する。	構成員の販売金額を昨年同様とした10a当たりの産額について、平成29年度と平成28年度を比較し、10%以上増加しているか確認する。青色申告決算書、専攻計画書等により、販売額の増加を確認する。	課題であった販売先について、担当者の能力によりマッチングが成功したことは大変喜ばしいが、販売単価については交渉が必要である。特に価格交渉を進めるためにも、更に収量・品質を向上させていく必要がある。また、栽培技術の徹底により、販売単価の向上が期待できる。園地生産を目指す生産者の増加も期待する。	R3評価 数量契約数指で市場価格に左右されないため、価格補正を行わない		
最上町農業振興協議会	1	最上町全域	露地野菜(アスパラガス)	・アスパラガスの生産規模・生産量拡大に対応できるよう集出荷施設の増設等。また、品質向上を図るための冷却導入しアスパラガス、ブランドの向上を図る。 ・安定産地拡大と品質向上に注力し産地形成を推進するため、専攻計画を立てて生産者と農業機械を整備する。	販売額の10%以上の増加 【14.6%増加】	H28	719,303円	50.5	ha	アスパラガス 366.1	t	アスパラガス 992	円/kg	R2	824,100円/10a	59	ha	アスパラガス 483.8	t	アスパラガス 1,005	円/kg	R2	899,326円/10a	50.77	ha	アスパラガス 396	t	アスパラガス 1,153	円/kg	98.8%	販売伝票、もがみ中央産地協同組合の販売実績等で確認する	単価は堅調に推移しているが、高齢化による産業者の増加、一部の園地での茎枯病の蔓延により栽培面積が減少し、生産者も減少している。産地継承と新たな担い手の確保が必要である。また、産地拡大による生産者の増加も期待している。高品質・省力化技術の向上に注力し、販売額の増加に努めていく。	高齢化により離農される方がみられ、栽培面積の減少が懸念される。担い手の確保に引き続き、生産者数の増加を目指す。現在の栽培体系を新たに構築し、労働力の確保や作業効率化をすすめる必要がある。また、産地拡大による生産者の増加も期待している。高品質・省力化技術の向上に注力し、販売額の増加に努めていく。	R3評価		
最上町農業振興協議会	3	最上町全域	きゅうり	機械導入により生産規模拡大と品質向上に注力し産地形成を推進する。	総販売額の10%以上の増加 【22.0%増加】	H28	23,622千円	1.28	ha	きゅうり 118.7	t	きゅうり 199	円/kg	R2	28,813千円	1.54	ha	きゅうり 144.8	t	きゅうり 199	円/kg	R2	35,811千円	1.48	ha	きゅうり 115.32	t	きゅうり 311	円/kg	79.0%	販売伝票、もがみ中央産地協同組合の販売実績等で確認する	平成30年度からJAの共通管理を推進することにより、産地継承の推進や作業管理に充てることができ、生産量が増加し目標達成を大きく上回った。生産性の向上により安定した収量を出荷することが出来た。	本事業での機械導入によって防除作業が効率的に行われ、品質向上につながった。販売単価も高めに推移し、目標販売額は大きく超えているが、産業者も減少している。個人差も大きいため、栽培管理を徹底し、販売額を増やすよう指導していただく。	R3評価		
最上町農業再生協議会	4	最上町	にら	①マルチロータリーの導入により定植作業の効率化と生産規模拡大を図り、出荷量の増加と安定供給の産地形成を推進する ②にら調整機の導入により出荷作業における結束から前までの自動化を図り、効率的な調整と作業効率の向上を実現する ③寒冷架(1坪タイプ)の導入により、効率的な出荷体制を確立し生産規模拡大が図れるようになる。また、定植作業の効率化と生産規模拡大を図る	総販売額の10%以上の増加 【16.5%増加】	H28	111,376千円	16.5	ha	にら 235.95	t	にら 472	円/kg	R2	129,750千円	17.3	ha	にら 259.5	t	にら 500	円/kg	R2	116,469千円	17.4	ha	にら 184.8	t	にら 630	円/kg	98.262千円	98.262千円	0.844	販売伝票、もがみ中央産地協同組合の販売実績等で確認する	5月に一部霜害の影響もあった。栽培管理に注力し、品質も向上し、収穫量も増加した。また、昨年度に引き続き栽培面積の拡大に努めていく。	本事業での機械導入によって調整作業の効率化が図られており、目標達成も大きく超えている。また、品質も向上している。個人差も大きいため、栽培管理を徹底し、販売額を増やすよう指導していただく。	R3評価
真室川町農業再生協議会	3	真室川町全域	ねぎ	・長ねぎ選別機の導入による安定した品質、規格のねぎの選別・出荷作業を図る。 ・安定した品質を確保するために収穫したねぎを自動で、適切に、皮むきを行い出荷・調整作業を図るためにネギネギトリーマの導入及びコンプレッサーの導入。 ・ラジコン動力を導入し、防除管理を徹底し出荷量を増加させる。	販売額の10%以上の増加 【10.7%増加】	H28	690千円/10a ※平26-平28	13.65	ha	ねぎ 340.567	kg	ねぎ 276	円/kg	R2	764千円/10a	14.07	ha	ねぎ 391.146	kg	ねぎ 275	円/kg	R2	1,000千円/10a	10.96	ha	ねぎ 292.230	kg	ねぎ 375	円/kg	1,022千円/10a	1,022千円/10a	448.5%	構成員の青色申告書、専攻計画書等により販売額の増加を検証する。	目標は達成しているものの、産業者の減少が懸念されている。生産者数は減少している。若手産業者による栽培面積の確保も期待している。高品質・省力化技術の向上に注力し、販売額の増加に努めていく。	高品質により販売金額の向上が期待されているが、産業者も減少している。個人差も大きいため、栽培管理を徹底し、販売額を増やすよう指導していただく。	R3評価

真室川町 農業再生 協議会	5	及位地区	ブロッコリー	・パイプハウスを導入し、育苗管理を徹底する。 ・うね内部分施肥機を導入し、うね形成と施肥を同時に行い、省力化を図る。 ・多用管理機を導入し、効率よく高精度な防除作業を実施する。 ・トラクター（30p）を導入し適切な圃場管理を実現する。 ・脱水機を導入し、出荷時の鮮度を維持する。(H30)	販売額の10%以上の増加 【1.12%増加】	H 28	33千円/10a	4.0	ha	ブロッコリー 24,960	kg	ブロッコリー 216	円/kg	R2	400千円/10a	20	ha	ブロッコリー 170,000	kg	ブロッコリー 470	円/kg	R2	44千円/10a	6.96	ha	ブロッコリー 9,384	kg	ブロッコリー 326	円/kg	358	円/kg	293	円/kg	1.222	54千円/10a	稼務申告における収支決算書等により販売額の増加を検証する。	5.7%	令和2年度は、生産圃場にマルチ掛けするなど収量確保に努めているが伸び悩んでいる。今後も適切な圃場の選定、農薬防除・除草対策を徹底するとともに目標に近づきよう努力をお願いしたい。	圃場拡大を進めているが、人員不足で圃場の管理に手が回らず過期作業ができない実情がある。除草対策として、マルチ栽培を増やしたところ生育が圃場に比べて遅い傾向があるが収穫できるようなため、今年は定植も導入し、すべての圃場にマルチ栽培を予定している。圃地化支援チームが定期的な生育状況の確認、圃場選定や排水対策の指導に入っていることから改善が見込まれる。	R3評価
真室川町 農業再生 協議会	6	真室川町 全域	きゅうり	・マルチプレーヤを導入し、省力化を図るとともに効率的な防除作業を行い、生産性向上を目指す。	販売額の10%以上の増加 【10.1%増加】	H 28	1,557,886円/10a	2.15	ha	きゅうり 158,240	kg	-	円/kg	R2	1,715,212円/10a	2.2	ha	きゅうり 168,232	kg	-	円/kg	R2	2,249,419円/10a	1.82	ha	きゅうり 116,905	kg	きゅうり 350	円/kg	289	円/kg	357	円/kg	0.81	1,821,029円/10a	構成員の青色申告書・営農計画書等により販売額の増加を検証する。	167.3%	目標を達成しているものの、農業者の高齢化による圃場の減少や作付面積が減少している。担手確保・若手生産者の技術向上、計画的な圃地拡大について引き続き指導を行う。	R3評価	
真室川町 農業再生 協議会	7	真室川町 全域	えだまめ	・管理機を導入し、うね形成からマルチの被覆作業の効率化、省力化を図り、生産性向上を目指す。 ・年平均的収量のため収穫したえだまめの販売を販売額のウェイトに差し込み、出荷・調整作業を行い、生産性向上を目指す。	販売額の10%以上の増加 【10.3%増加】	H 28	210,288円/10a	4.36	ha	えだまめ 17,352	kg	えだまめ 398	円/kg	R2	232,000円/10a	5	ha	えだまめ 20,000	kg	えだまめ 400	円/kg	R2	240,029円/10a	3.73	ha	えだまめ 13,181	kg	えだまめ 679	円/kg	800	円/kg	1027	円/kg	0.779	186,916円/10a	構成員の青色申告書・営農計画書等により販売額の増加を検証する。	-107.6%	市場価格が高騰し、取組主体計画は達成しているが、価格補正後は厳しいものがある。面積や生産量も農業者の圃場や圃場の連作障害の影響も減少している。経営者の強化や新たな人材の確保に向け努めていきたい。	R3評価	
大蔵村農 業再生協 議会	2	鯉川村 戸沢村 大蔵村	露地花き (リンドウ)	・リンドウの生産規模・生産量の拡大に対応するため青果物集出荷施設を新設し、農家の所得向上を図る。(H29) ・鯉川村、戸沢村、大蔵村のリンドウ作付面積を拡大するため、リンドウの新規作付(89a)に必要な資材(グラウンドシート、横木、直管パイプ)を導入する。(H29) ・鯉川村、戸沢村、大蔵村のリンドウ作付面積を拡大するため、リンドウの新規作付(89a)に必要な資材(直管シート、グラウンドシート、マルチ、クラフターネット)を導入する。また、リンドウの生産規模拡大による出荷量の増加に対応するため、結束機を導入する。(H30)	販売額の10%以上の増加 【55.0%増加】	H 28	64,766,000円	8.47	ha	リンドウ 1,611,800	本	リンドウ 41	円/本	R2	100,400,000円	10.79	ha	リンドウ 2,475,000	本	リンドウ 41	円/本	R2	81,855,621円	11.74	ha	リンドウ 1,796,705	本	リンドウ 46	円/本	48	円	54	円	0.889	73,474,544円	(山形もがみ)もがみ中産量出荷の年取引実績を確認する。	24.4%	目標達成に向け、着実に生産規模拡大が図られているが、当初の目標設定の高さから達成が低くなっている。生産圃場の連作障害・天候の影響により生産量が伸び悩んでいる状況にあるため、生産管理の徹底、天候リスクを考慮し栽培技術の確立により品質・収量の向上を目指してほしい。	R3評価	
高島町農 業再生協 議会	2	高島、二 井宿、屋 代、竜 岡、和 田	果樹(ぶ どう、か き)	○ぶどう ・収量や品質の向上等のための雨よけ施設資材、暖房機、二重被覆資材の導入 ・高品質生産のための樹木粉碎機、除草作業の省力化のための乗用モアの導入 ・長期出荷や出荷効力分散を図るための冷蔵庫の導入	総販売額の10%以上の増加 【10.1%増加】	H 28	205,811千円	26.51	ha	果樹 322,562	kg	果樹 638	円/kg	H 32	226,597千円	26.51	ha	果樹 332,460	kg	果樹 682	円/kg	R2	231,347千円	26.6	ha	果樹 218,621	kg	果樹 1,058	円/kg	627	円/kg	954	円/kg	0.657	151,965千円	農業者の売り上げ伝票等により販売額の増加を検証する。	-259.0%	生産者の高齢化に伴う栽培面積の減少や生産現場での高湿、高温、大雨などの異常気象の影響を受け、収量及び品質の確保が課題となっている。雨よけ施設資材、暖房機、二重被覆資材の導入により早期出荷が可能となった。また、樹木粉碎机、乗用モア、冷蔵庫を導入することで、高品質生産したものを長期出荷することが可能になった。令和2年度においては、産地として統一共通を開始するなどの取り組みが、産地向上に努めたことで販売単価は堅調に推移したが、7月豪雨の影響により、かなりの減収となった。	R3評価	
鶴岡市農 業再生協 議会	1	鶴岡市 郡引 羽黒 鶴岡 温帯	果樹(さ くらんぼ、 ぶどう、 かき)	さくらんぼ：安定生産と高品質化を目指す、雨よけ資材、暖房機、冷蔵庫を導入する。 ぶどう：安定生産と高品質化、長期出荷を目指す、ぶどう棚一本型雨よけ資材、排水資材、冷蔵庫を導入する。 かき：大玉高品質化を図るため選果機を導入する。	販売額の10%以上の増加 【17.8%増加】	H 28	85.0万円/10a	12.13	ha	果樹 105,460	kg	果樹 978	円/kg	H 32	100.1万円/10a	15.02	ha	果樹 142,067	kg	果樹 1,058	円/kg	R2	112.0万円/10a	14.67	ha	果樹 124,221	kg	果樹 1,322	円/kg	さくらんぼ 1,080 ぶどう 497 かき 146	円/kg	さくらんぼ 1,545 ぶどう 751 かき 170	円/kg	さくらんぼ 699 ぶどう 662 かき 859	10a当たり 76.5万円	取組主体ごとの確定申告等を通じて現状の販売額と目標年度の販売額を比較する。	-56.3%	10a当たり販売額は目標値に達しなかったが、圃場構成の改善が実効性を出始めており、前年と比較して収量が向上し、産地向上に努めている。引き続き適切な栽培管理により圃場育成に努めるよう指導を行った。	R3評価	

鶴岡市農業振興協議会	2	鶴岡市 鶴岡市 露地野菜 (えだまねぎ)	えだまねぎ: 収穫量向上と高品質化を目指し栽培管理の徹底に向けて管理機械・葉出荷加工機械等を導入する ねぎ: 収穫量向上と高品質化に向けて収穫作業機等の導入を進める。	販売額の10%以上の増加 【16.1%増】 【10.1%増】	H29 26.7万円/10a	145.36 ha	野菜 457,515 kg	野菜 850 円/kg	H32 29.4万円/10a	193.72 ha	野菜 677,267 kg	野菜 942 円/kg	R2 27.9万円/10a	163.2 ha	野菜 504,427 kg	野菜 904 円/kg	えだまねぎ 614 円/kg 231	えだまねぎ 724 円/kg 259	えだまねぎ 0.948 円/kg 0.892	10a当たり 23.7万円	取組主体ごとの確定申告等に基づき取組主体が設定した露地野菜の販売額を積算する。 販売額の積算値が10%増なら、10%の販売額の増加となる。	-111.1%	7月28日の豪雨災害や長雨の影響による収穫量の減少にたいし、10a当たり販売額が目標を下回った。 次年度以降の目標達成に向け、排水対策等の栽培管理に努めるよう指導した。 その結果、面積減少により収穫と生産が減少した。排水対策は未達成となった。 今後は、農業技術普及課と連携して排水対策等の栽培技術管理を行い、収穫量増加につなげるよう指導した。	R3評価
酒田市農業青年協議会	8	浜中 施設野菜 (メロン)	パイプハウス資材導入による作付面積拡大、機械導入による生産量の増加及び高品質化	販売額の10%以上の増加 【33.9%増】	H29 750千円/10a ※H26-H28年度	16.37 ha	メロン 409.2 t	メロン 300 円/kg	H32 1,004千円/10a	16.49 ha	メロン 410.0 t	メロン 404 円/kg	R2 1,074千円/10a	16.49 ha	メロン 411.0 t	メロン 410.5 円/kg	343 円	391 円	0.877	941千円/10a	販売伝票の突合により確認する。	75.2%	企業販売増及び高値販売により販売額の増加となった。今後は作付け計画及び販売計画のさらなる検討を支援していく。	R3評価
酒田市農業青年協議会	12	上田 枝豆	農業機械導入による生産量の増加と、安定的な生産体制の確立	販売額の10%以上の増加 【167.0%増】	H29 99.3千円/10a ※H26-H28年度	2.0 ha	枝豆 2,918 kg	枝豆 681 円/kg	H32 265.1千円/10a	2 ha	枝豆 4,520 kg	枝豆 1,173 円/kg	R2 113.8千円/10a	2.6 ha	枝豆 3,164 kg	枝豆 921 円/kg	598 円/kg	748 円/kg	0.799	91.0千円/10a	販売伝票の突合による販売額の検証	-5.0%	H29年度は、7月からの長雨により生産量が減少した。 前年度より面積当たり単産は増加してきているものの、生産量が目標に届かなかったため、成果目標は未達成となった。 今後は、農業技術普及課と連携して排水対策を講じて収穫量増加につなげるよう指導した。	R3評価
遊佐町農業振興協議会	3	杉沢 エゴマ	農業機械導入による生産量の増加と、安定的な生産体制の確立	販売額の10%以上の増加 【104.0%増】	H29 144千円/10a	1.2 ha	エゴマ 480 kg	エゴマ 3,600 円/kg	H32 337千円/10a	3 ha	エゴマ 1,500 kg	エゴマ 6,750 円/kg	R2 91千円/10a	3.7 ha	1,850 kg	1,833 円/kg	6,080 円/kg	6,840 円/kg	0.889	81千円/10a	販売伝票の突合による販売額の検証	-32.6%	H29年度も面積は順調に拡大しており、これに伴い収量も増している。売上については、道の駅への出荷が大多数ということもあり、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に落ち込んだ。 前年度より生産量は増加してきているものの、面積当たり単産と生産量が目標に届かなかったため、成果目標は未達成となった。 今後は、コロナ禍で非常に難しい状況ではあるが、販売額の確保に努めるよう指導した。	R3評価
遊佐町農業振興協議会	4	遊佐 柿	①かき選果機を導入することにより、選果選別作業の効率化と処理量の増加を図る ②かき皮むき機を導入することにより、皮むき工程作業の効率化と処理量の増加を図る	販売額の10%以上の増加 【13.7%増】	H29 146千円/10a	20 ha	柿 127,625 kg	柿 229 円/kg	H32 166千円/10a	20 ha	柿 128,250 kg	柿 258 円/kg	R2 280千円/10a	20 ha	172,105 kg	325 円/kg	1,113 円/kg (加工) 115 (生)	1,266 円/kg (加工) 167 (生)	0.879 円/kg (加工) 0.689 (生)	201千円/10a	販売伝票の突合による販売額の検証	275.0%	H29年度も作業の機械化により、生産量が増加したことにより、面積当たり単産と生産量が目標を上昇し、成果目標を達成することができた。 なお、農からの指導事項はない。	R3評価

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方 法(※定量的な検証 ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考				
					現状			目標			実績														
					年 度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年 度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年 度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位									
舟形町農 業再生協 議会	8	太郎野	水稲	①調製施設を整備(新設)し、生産規模の拡大と生産量の増加を図る。 ②販売価格の安定している契約栽培の取組みを拡大し、収益を確保する。 ③農地中間管理事業を活用して経営面積を拡大する。また、農地を集約し作業効率向上を図る。	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上 【50.3%増加】	H 29	契約栽培の割合 3.3%	18.9 ha	109.8 t	3.6 t	H 32	契約栽培の割合 53.6%	24 ha	138.7 t	74.4 t	R2	契約栽培の割合65.4%	25.4 ha	141.7 t	92.7 t	米契約栽培の割合は、契約書及び領収書等により契約率の増加を検証する。	123.5%	R2年度において、目標を達成することができている。今後さらに契約数量を増加させ、経営の安定化と産地の拡大に努めて頂きたい。	R2年度において目標を達成することができた。今後も契約数量を維持・増加できるように支援していく。	R3評価

